



えどがわ

第1回 区議会定例会

日 2月19日(火)～
3月26日(火)開催予定
区議会事務局 ☎5662-5556

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

区民栄誉賞 角野栄子さんが受賞記念講演 「誰もが魔法を持っている」

1月23日、江戸川区ゆかりの児童文学作家・角野栄子さんが、本区初の区民栄誉賞を受賞されました。受賞後の記念講演で、昨年、児童文学のノーベル賞ともいわれる国際アンデルセン賞を受賞した喜びを語られた角野さんは、「歳を重ね、もう開かないと思っていた私の扉がもう1回開いた」と、受賞を契機に創作意欲が高まっていることを告白。さらに新たな作品についての驚きの構想も明かされました。講演の様相を詳しくご紹介します。 ☎総務係 ☎5662-6194

小岩の思い出が作中に

幼少期から暮らした小岩の思い出について「家があったのは蔵前橋通りと柴又街道の近くで…」などと詳細な場所を挙げながら振り返った角野さん。客席には土地勘のある来場者も多く、地名が挙がるたびに深くうなづく人々の姿が見られました。

「作中には『これが小岩ですよ』とは書いていないけれども、思い出が胸の中のミキサーにかけられて出てきている」と語られたように、幼少期の原体験がさまざまな形で作品に影響しているそうです。

キキの魔法は一つ！

代表作の一つである『魔女の宅急便』シリーズの創作経緯を振り返る中では、当初から主人公の魔女キキの使える魔法を一つだけに限ろうと決めていたことを紹介。「たった一つの魔法が使えなくなったら、キキはそれを機会にいろんな人と会う。それで物語が面白くなる。だから魔法は一つだけ」と、その背景を語りました。

また、同作は映画監督・宮崎駿氏によるアニメ映画によって広く認知されているために、原作にないアニメ独自のエピソードについて悪気なく質問されること

があるそうで、そんな時に角野さんが「そのことなら宮崎さんの方がよくご存じじゃないかしら」とおどけて応じていることを打ち明けると、客席は笑いに包まれました。(写真下へ続く)



「むかしから魔女の洋服の色はすべての黒の中の黒って決まっているの。これは変えられないのよ」
（『魔女の宅急便』より）

角野さんは作中で描いた魔女さながらの黒のワンピースで登壇されました。

ジルをたずねて』の原稿を1年近くかけて推敲する中で「飽きっぽい私が、何回繰り返して書き直してもちっとも飽きない。なんだか変だな」と戸惑い、ついには「きっと私は書くことが好きなんだ」と思い至ったのだそうです。

自身が思いもよらず“読む人”から“書く人”へと変身した経緯はまさに“魔法”であったとし、「書き続けるうち、私自身が魔法で変わったように、誰でも魔法を持っていると思うようになった」と、人の持つ秘めた可能性への強い思いを語りました。

私の扉 もう1回開いた

講演の締めくくりには自作『魔女からの手紙』を朗読し、不気味な魔女が手紙を通じて優しく語りかけた「この扉はね、おわりからあくんだよ」とのメッセージを引用した角野さん。「何回も扉を開けてしまったから、もう最後だろうと思っていた時に国際アンデルセン賞をいただいて、私の扉がもう1回開いた。こんなに光栄な区民栄誉賞もいただいたので、なんとか小岩を舞台に書いてみたい」と、創作意欲の高まりと新たな構想を言葉にすると、会場からは惜しめない拍手が送られました。



講演後に母校・中小岩小学校を訪ねた角野さんを、児童は『魔女の宅急便』の世界を模した手作りの舞台上で歓迎しました。



多田区長から表彰状を受け取った角野さん。「長い間、ここに住んでいたのでもううれしく、光栄です。第一号というのがまた良いですね」と感想を語っていました。

魔法が“読む人”を“書く人”に

角野さんは20代のうち2年間をブラジルで過ごしており、帰国後に恩師からその体験を児童書にまとめるよう勧められたことが創作活動を始めるきっかけでした。

デビュー作『ルイジニョ少年 ブラ



広報

えどがわ

平成31年 (2019年) 2/10

区の人口と世帯数

人口・世帯数(前月比) 4

人口	697,986	(-45)
男	351,852	
女	346,134	
世帯	342,027	(+11)



2月1日現在

発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 🌐https://www.city.edogawa.tokyo.jp/

ラグビーTRYプロジェクト

元ラグビー日本代表

松尾雄治氏 講演会

「挑戦する心」

「日本ラグビー史上最高のスタンドオフ」と呼ばれた松尾雄治さんによる講演会です。直接会場へ。

- 日 2月25日 日 19時～20時15分
- 人 高校生相当以上の方250人(先着順)
- 場 タワーホール船堀5階大ホール
- 問 スポーツ係 ☎5662-1636



第45回花壇コンクール 花壇づくり参加者募集

小岩フラワーロードで開催予定の「花壇コンクール」の花壇づくり参加者を募集します。

植え付け期間 5月中旬～下旬

問 申込用紙(区各施設で配布または区ホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、3月22日迄までに郵送(必着)・ファクシミリ・持参または電話で、〒132-0021 中央1-3-13 中里ビル2階 水とみどりの課推進係 ☎5662-8393・☎3674-6797

※花壇の花苗は支給します(持参可)。



基礎から学ぶ 春の花壇づくり講座

花の種類や植え付け方、育て方など花壇づくりの基礎を身に付けませんか。小岩フラワーロードで植え付け体験も行います。

日 3月2日 日 10時～12時 場 南小岩コミュニティ会館

人 30人(申込順)

師 有山×高瀬計画室・山浩美

申 2月12日 日 9時から電話で、有)プラネット・コンサルティングネットワーク ☎3652-5508

問 水とみどりの課推進係 ☎5662-8393



一之江抹香亭の催し

いずれも直接会場へ。

雛人形の展示

七段飾りや年代物の雛人形などを展示します。ぜひ間近でご覧ください。

日 2月16日 日 3月3日 日 9時～17時

箏の調べを楽しむ会

箏でひな祭りの曲や江戸川区歌を演奏します。お子さんも一緒に歌って楽しみましょう。

日 2月17日 日 13時から・14時から

協 筑紫おおぎ会

《場問》一之江抹香亭 ☎3654-0095



篠崎文化プラザ企画展示関連イベント

日本刺繍でうさぎに挑戦

日 2月23日 日 14時～15時

人 10人(申込順) ¥1000円

師 日本刺繍工芸士・片倉玲子・吉田順子

場 申問 2月11日 日 14時から電話で、篠崎文化プラザ ☎3676-9071



消費者教室

消費者被害に遭わないために ～出前寄席と相談の現状や対処～

日 2月28日 日 13時30分～15時 場 グリーンパレス2階高砂・羽衣

人 60人(申込順) 師 消費生活専門相談員・佐生裕子 ほか

申問 2月12日 日 9時から電話で、消費者センター ☎5662-7635

第6回江戸川区・

ドラゴンボートレース大会

参加チーム募集

旧中川の春の風物詩、桜の名所で行う「ドラゴンボートレース(200m)」に参加しませんか。

日 4月21日 日 9時30分～14時45分(荒天中止)

場 旧中川(都営新宿線東大島駅～さくら大橋)

人 16チーム(小学4年生以上の方対象、1チーム16人)

※人数が16人に満たない場合は要相談。練習日あり。参加チームは3月17日 日 に小松川さくらホールで実施する説明会への参加が必要。

申問 申込用紙(区ホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、3月1日迄までに郵送(必着)・ファクシミリまたは持参、〒132-8501(住所不要)スポーツ振興課スポーツ係(区役所3階10番) ☎5662-1636・☎5607-5151



「第三次江戸川区学校教育情報化推進計画(平成31～34年度)」

への意見募集

学校教育の情報化に関する基本的な考え方と、進めるべき方向性を明確化するために、平成31年度からの4カ年を対象とする「第三次江戸川区学校教育情報化推進計画」を策定しました。このたび、推進計画案を公表し、皆さんからの意見を募集します。いただいた意見は、区の考えと併せて後日公表します。

意見提出方法 住所・氏名・電話番号・区内在住または在勤・在学の別(そのほかの方は意見を提出する理由)を明記し、2月25日 日 までに郵送(消印有効)・持参または区ホームページから

問・閲覧場所・意見書提出先 〒132-8501(住所不要)教育推進課計画調整係(区役所4階3番) ☎5662-0730

◎区ホームページでもご覧になれます。

「災害時における介護を要する高齢者等の受入施設に関する協定」を締結しました

1月15日、介護福祉事業を行う有)パムックと「災害時における介護を要する高齢者等の受入施設に関する協定」を締結しました。これにより、災害時において、介護を要する高齢者、障害者およびその介護者を受け入れる体制がさらに拡充されました。

問 防災危機管理課計画係 ☎5662-1992